

障害福祉に関するアンケート調査へのご協力をお願い

日頃より千葉市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

千葉市では現在、令和9年度を初年度とする第7次障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。

調査の対象者は、障害者手帳または自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちの方から選ばせていただきました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。調査票は個人情報保護法にしがたい、適切に管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月 千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課

<記入要領>

- 宛名のご本人が直接回答いただくことが難しい場合には、家族や介助者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- 質問への回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 名前や住所、電話番号などは書かないでください。
- 記入が終わりましたら、令和8年1月13日（火）までに同封の返信用封筒を使ってご返送ください。
- このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】千葉市 保健福祉局 高齢障害部 障害者自立支援課 企画班

電話 043-245-5175 FAX 043-245-5549

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（〇は1つだけ）

1. 本人（この調査票が郵送された宛名の方） 2. 本人の家族
3. 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人（この調査票の対象者：障害のある方）の状況などについて、お答えください。

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和7年10月1日現在）

満 歳

問3 あなたの性別をお答えください。（〇は1つだけ）

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問4 あなたがお住まいの区はどこですか。（〇は1つだけ）

1. 中央区 2. 花見川区 3. 稲毛区 4. 若葉区 5. 緑区 6. 美浜区

問5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。
（あてはまるものすべてに〇）

1. 父母 2. 祖父母
3. 兄弟姉妹
4. その他（ ） 5. いない（一人で暮らしている）

問6 日常生活の中で、次の支援が必要ですか。①から⑩のそれぞれにお答えください。
（①から⑩それぞれに〇を1つ）

項目	不要	一部（時々）必要	全部必要
⑫ 食事の介助	1	2	3
⑬ トイレの介助	1	2	3
⑭ オムツの利用	1	2	3
⑮ 入浴の介助	1	2	3
⑯ 衣服の着脱の介助	1	2	3
⑰ 身だしなみの介助	1	2	3
⑱ 家の中の移動の介助	1	2	3
⑲ 外出の介助	1	2	3
⑳ 家族以外の人との意思疎通の援助	1	2	3
21 お金の管理の援助	1	2	3
22 薬の管理の援助	1	2	3

⑦主な介助者は、介助について相談できる機関を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. はい -----> ⑧へ 2. いいえ -----> 問9へ

【⑦で「1. はい」を選択した場合にお答えください。】

⑧知っている機関をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 1. 基幹相談支援センター | 2. 養護教育センター |
| 3. 保健福祉センター | 4. 療育センター |
| 5. 発達障害者支援センター | 6. こころの健康センター |
| 7. 家族介護者支援センター | 8. その他 () |

あなたの障害の状況について

問9 あなたは何級の身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-----------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 4級 |
| 5. 5級 | 6. 6級 | 7. 持っていない | 問11へ |

【問10は、問9で「7. 持っていない」以外を選択した場合にお答えください。】

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 視覚障害 | 2. 聴覚・平衡機能障害 |
| 3. 盲ろう(視覚障害と聴覚障害の重複) | 4. 音声・言語・そしゃく機能障害 |
| 5. 肢体不自由(上肢) | 6. 肢体不自由(下肢) |
| 7. 肢体不自由(体幹) | 8. 内部障害(1~7以外) |

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。お持ちの場合、障害の程度をお答えください(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|--------|--------|---------------------------------|
| 1. ① | 2. ①の1 | 3. ①の2 | 4. Aの1 |
| 5. Aの2 | 6. Bの1 | 7. Bの2 | 8. その他 () |
| 9. 持っていない | | | |

問12 あなたは何級の精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|----------------------|------------|-------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
| 4. 精神障害があるが手帳を持っていない | 5. 精神障害がない | |

問13 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

※重症心身障害とは、重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態のことを言います。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問14 あなたは特定疾病医療受給者証をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問15 あなたは発達障害と診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠如多動性障害などをいいます。

1. ある -----> 問16へ 2. ない -----> 問17へ

【問16は、問15で「1. ある」を選択した場合にお答えください。】

問16 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 自閉症・自閉的傾向 | 2. 高機能自閉症・高機能広汎性発達障害 |
| 3. 自閉症スペクトラム障害 | 4. 広汎性発達障害 (PDD) |
| (ASD) | |
| 5. アスペルガー症候群 | 6. 注意欠如・多動性障害 (AD/H D) |
| 7. 学習障害 (LD) | 8. 知的障害 |
| 9. その他 () | 10. 特に診断は受けていない |

問17 あなたは強度行動障害があると言われたことがありますか。(〇は1つだけ)

※強度行動障害とは、自傷、他傷、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態のことをいいます。障害福祉サービス等を利用している方で重度障害者支援加算の対象となっている場合や、外出支援で行動援護を利用している場合、医師や療育機関等から指摘されたことがある場合等は「1. ある」としてください。

1. ある 2. ない

問18 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。

(〇は1つだけ)

※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害、失語などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

1. ある -----> 問19へ 2. ない -----> 問20へ

【問18で「1. ある」を選択された方がお答えください】

問19 その関連障害をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 視覚障害 | 2. 聴覚・平衡機能障害 |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 4. 肢体不自由 (上肢) |
| 5. 肢体不自由 (下肢) | 6. 肢体不自由 (体幹) |
| 7. 内部障害 (1~6以外) | 8. その他 () |

住まいや暮らしについて

問24 あなたは現在どのように暮らしていますか。

((1) と (2) のそれぞれについて、○は1つだけ)

(1) 一緒に暮らしている人の有無

1. 一人で暮らしている
2. 父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしている
3. 福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしている
4. その他 ()

(2) 暮らしている場所

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 一般の住宅 | 2. グループホーム |
| 3. 福祉施設 (障害児施設等) | 4. 病院 (入院中) |
| 5. その他 () | |

問25 成人したらどのような暮らしをしたいと思いますか。

((1) と (2) のそれぞれについて、○は1つだけ)

(1) 一緒に暮らしたい人の有無

1. 一人で暮らしたい
2. 配偶者またはパートナー (や子ども) と一緒に暮らしたい
3. 父母、祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたい
4. 福祉施設やグループホームの利用者と一緒に暮らしたい
5. その他 ()

(2) 暮らしたい場所

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 一般の住宅 | 2. グループホーム -----▶ 問26へ |
| 3. 福祉施設 (障害者支援施設等) | 4. その他 () |

【問25 (2) で「2. グループホーム」を選択した方がお答えください。】

問26 グループホームで暮らしていく上で、困ること、不安に思っていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 数が足りない | 2. 費用が高い |
| 3. 希望する地域にない | 4. 本人の障害特性に合う事業所が見つからない |
| 5. その他 () | 6. 特にない |

にっちゅうかつどう しゅうろう き
日中活動や就労についてお聞きします。

問28 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つだけ)

1. 毎日外出する 2. 1週間に数回外出する 3. めったに外出しない
4. まったく外出しない -----▶ 問33へ(次のページ)

【問29から問32は、問28で、「4. まったく外出しない」以外を選択した方がお答えください。】

問29 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(〇は1つだけ)

1. 父母 2. 祖父母
3. 兄弟姉妹 4. ホームヘルパーや施設の職員
5. その他の人(ボランティア等) 6. 一人で外出する

問30 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 通勤・通学・通所 2. 訓練やリハビリに行く 3. 医療機関への受診
4. 買い物に行く 5. 友人・知人に会う 6. 趣味やスポーツをする
7. グループ活動に参加する 8. 散歩に行く 9. その他()

問31 あなたは、外出時の移動手段について、何を利用していますか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 鉄道 2. バス 3. モノレール 4. タクシー
5. 自家用車 6. 自転車 7. その他()

問32 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 公共交通機関が少ない(ない) 2. 列車やバスの乗り降りが困難
3. 道路や駅に階段や段差が多い 4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
5. 外出先の建物の設備が不便 6. 介助者が確保できない
(通路、トイレ、エレベーターなど)
7. 外出にお金がかかる 8. 周囲の目が気になる
9. 発作など突然の身体の変化が心配 10. 困った時にどうすればいいのかわからない
11. その他()

問33 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。(〇は1つだけ)

1. よく利用する 2. 時々利用する 3. あまり利用しない 4. 全く利用しない

問34 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 通路の幅を広げてほしい
2. 手すりをつけてほしい
3. 段差や急な坂をなくしてほしい
4. 点字や音声でわかりやすく情報を伝えてほしい
5. 障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい
6. 障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい
7. ベンチを増やしてほしい
8. 利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい
9. 障害者も利用しやすい遊び場(遊具等)を設置してほしい
10. その他()
11. 特に必要なことはない

問35 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

1. 幼稚園、保育所に通っている
2. 障害児通所施設等に通っている
3. 小学校の通常学級に通っている
4. 小学校の特別支援学級・特別支援学校(小学部)に通っている
5. 中学校の通常学級に通っている
6. 中学校の特別支援学級・特別支援学校(中学部)に通っている
7. 一般の高校に通っている
8. 特別支援学校(高等部)に通っている
9. 働いている(在宅含む)
10. 専門学校、職業訓練校などに通っている
11. 自宅で過ごしている
12. その他()

問36 あなた（やご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1. 発達や心身の状態に不安がある | 2. 行動上の問題への対応に困っている |
| 3. 自分では身の回りの事が十分にできない | 4. 自分や家族では家事が十分にできない |
| 5. 健康状態に不安がある | 6. 介助者（家族）の負担が大きい |
| 7. 段差や階段など、住まいに支障がある | 8. 外出するのに支障がある |
| 9. 支援の度合いが高いため、受け入れ可能な事業所・施設が見つからない | 10. 利用したい福祉サービスを十分に利用できない |
| 11. 収入や生活費に不安を感じている | 12. 緊急時に支援が得られない |
| 13. 家族、周囲の人、近所の人などとの人間関係に支障がある | 14. 障害者であることによる差別を受けている |
| 15. 将来の生活に不安を感じている | 16. 療育・教育について困っている |
| 17. 就労について困っている | 18. 親しい友人がいない |
| 19. その他（ ） | 20. 特に困っていることはない |

問37 あなた（やご家族の方）は、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 家族や親せき | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の上司や同僚 |
| 5. 施設の指導員など | 6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人 |
| 7. 障害者団体や家族会 | 8. かかりつけの医師や看護師 |
| 9. 相談支援専門員・介護保険のケアマネージャー | 10. 民生委員・児童委員 |
| 11. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 | 12. 基幹相談支援センター |
| 13. 養護教育センター | 14. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 |
| 15. 保健福祉センター | 16. 療育センター |
| 17. 発達障害者支援センター | 18. こころの健康センター |
| 19. SNS、電話などによる匿名相談 | 20. その他（ ） |
| 21. 相談する相手はいない | |

問38 あなた（やご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 近所で気軽に立ち寄れる相談 | 2. 休日や夜間など緊急時の相談 |
| 3. 専門性の高い職員による相談 | 4. 自分と同じ立場の人による相談 |
| 5. 定期的に訪問してくれる相談 | 6. SNS、電話などによる匿名相談 |
| 7. その他（ | 8. 特に希望はない |

問39 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 電話による相談 | 2. 電子メールやインターネットによる相談 |
| 3. ファックスによる相談 | 4. 手話通訳者・要約筆記者のサポートを受けられる相談 |
| 5. SNSによる相談 | 6. その他（ |

問40 あなた（やご家族の方）は障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。
（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース | 2. 行政機関の広報誌（ちば市政だより、障害者福祉のあんないなど） |
| 3. インターネット | 4. 家族や親せき、友人・知人 |
| 5. サービス事業所の人や施設職員 | 6. 障害者団体や家族会（団体の機関誌など） |
| 7. かかりつけの医師や看護師 | 8. 相談支援専門員・介護保険のケアマネージャー |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生 |
| 11. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 | 12. 市の相談窓口 |
| 13. 生活自立仕事相談センター | 14. 基幹相談支援センター |
| 15. あんしんケアセンター | 16. 引きこもり地域支援センター |
| 17. 発達障害者支援センター | 18. その他 |
| | （ |

しょうがいふくしきサービス等の利用についてお聞きします。

問4-1 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1	2. 区分2	3. 区分3	4. 区分4
5. 区分5	6. 区分6	7. 受けていない	

問4-2 あなたは次のサービスを利用していますか。また、これから利用する希望はありますか。(①～⑦のサービスごとに、「(1)現在の利用」と「(2)今後3年以内の利用希望」の両方をお答えください(番号に○をしてください)。

また、現在の利用で「利用していない」または、今後3年以内の利用希望で「利用希望がない」、「利用したい(増やしたい)ができない」と答えた場合、その理由をそれぞれお答えください。(下の表の選択肢ア～シから選んで記載ください。)

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください(番号に○をしてください)。 「2. 利用していない」 「4. 利用希望がない」 「5. 利用したい(増やしたい)ができない」と答えた場合、その理由をお答えください。(下の表の選択肢ア～シから選んで記載ください。)	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(ア～シ)	1. 今よりも利用を増やそう希望がある	2. 同じくらい利用する希望がある	3. 今よりも利用を減らそう希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4・5を選んだ場合の理由(ア～シ)
A 訪問による支援	① 在宅介護(ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	→	1	2	3	4	5	→
	② 重度訪問介護 重い障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	→	1	2	3	4	5	→

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢:

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないから	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください(番号に○をしてください)。 「2. 利用していない」 「4. 利用希望がない」 「5. 利用したい(増やしたい)ができない」と答えた場合、その理由をお答えください。(下の表の選択肢A～シから選んで記載ください。)	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(A～シ)	1. 今よりも利用を増やす希望がある	2. 今と同じくらい利用したい希望がある	3. 今よりも利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4. 5.を選んだ場合の理由(A～シ)
A 訪問介護支援	③ 同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	④ 行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑤ 重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の度合いがとても高い方に、居宅介護などをまとめて提供するサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑥ 移動支援 屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための援助を行います。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑦ 訪問入浴 自宅に訪問入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。	1	2		1	2	3	4	5	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢:

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないから	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください(番号に○をしてください)。 「2. 利用していない」 「4. 利用希望がない」 「5. 利用したい(増やしたい)ができない」と答えた場合、その理由をお答えください。(下の表の選択肢A～シから選んで記載ください。)	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(ア～シ)	1. 今よりも利用を増やす希望がある	2. 今と同じくらい利用したい希望がある	3. 今よりも利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4・5を選んだ場合の理由(ア～シ)
B 居間の生活の支援	⑧短期入所(ショートステイ) 在名の障害者(児)を護する方が病気の場合などに、障害者が施設に短期入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑨療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑩生活介護 常に介護を必要とする方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑪日中一時支援 障害者に日中生活の場を提供し、家族の就労や休養のための支援を行います。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑫その他の通所施設 (具体的なサービス名をお書きください)	1	2		1	2	3	4	5	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢:

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないため	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください（番号に○をしてください）。	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(ア～シ)	1. 利用希望あり(1年以内を希望)	2. 利用希望あり(3年以内を希望)	3. 利用希望あり(将来的な希望)	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4.5. 4.5を選んだ場合の理由(ア～シ)
C 入所者の支援	⑬施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障害者に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
D 自立生活の支援	⑭共同生活援助(グループホーム) 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢：

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないため	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください（番号に○をしてください）。	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(ア～シ)	1. 今よりも利用を増やす希望がある	2. 今と同じくらい利用したい希望がある	3. 今よりも利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4. 5.を選んだ場合の理由(ア～シ)
D 自立した生活のための支援	⑮ 自立生活援助 一人暮らしに必要な理解力・生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な手助けを行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
E 自立した生活のための訓練や就労の支援	⑯ 自立訓練（機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑰ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑱ 就労継続支援（A型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、雇用契約に基づき、就労や生産活動の機会の提供や、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢：

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないため	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください（番号に○をしてください）。 「2. 利用していない」 「4. 利用希望がない」 「5. 利用したい（増やしたい）ができない」 と答えた場合、その理由をお答えください。（下の表の選択肢A～シから選んで記載ください。）	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(A～シ)	1. 今の利用を増やす希望がある	2. 同じくらい利用し続ける希望がある	3. 今の利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい（増やしたい）ができない	4・5を選んだ場合の理由(A～シ)
E 自立した生活のための訓練や就労の支援	⑱ 就労継続支援（B型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労や生産活動の機会を提供や、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです（雇用契約なし）。	1	2		1	2	3	4	5	
	⑳ 就労定着支援 通常の事業所で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
F 相談支援	㉑ 計画相談支援 サービス等利用計画案の作成や事業者等と連絡調整を行うほか、利用状況の確認を行うサービスです。	1	2		1	※利用希望あり			4	5
	㉒ 地域移行支援 住まいの確保や、地域での生活に移行するための活動に関する相談、各福祉サービス事業所への同行を行うサービスです。	1	2		1	※利用希望あり			4	5
	㉓ 地域定着支援 常に連絡体制を確保し、障害の特性による緊急事態における相談や、サービス事業所との連絡調整などを支援するサービスです。	1	2		1	※利用希望あり			4	5
G 福祉の支援	㉔ 障害者基幹相談支援センター 障害のある方が住み慣れた地域でその人らしく暮らしていくために、日常生活や社会参加などに関するさまざまな相談に応じます。	1	2		1	2	3	4	5	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい（増やしたい）ができない」場合の理由の選択肢：

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないから	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください（番号に○をしてください）。 「2. 利用していない」 「4. 利用希望がない」 と答えた場合、その理由をお答えください。（下の表の選択肢A～シから選んで記載ください。）	(1)現在の利用			(2)今後3年以内の利用希望				
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由A～シ	1. 今のまま利用を増やす希望がある	2. 今のまま利用を維持する希望がある	3. 今のまま利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	4を選んだ場合の理由A～シ
Gその他の支援	⑳ 成年後見制度利用支援事業 成年後見制度の利用にかかる申立て費用や後見人等報酬の助成をします。	1	2 →		1 ※利用希望あり			4 →	
	㉑ 意思疎通支援事業 意思疎通を図ることに支障のある方に、手話通訳者等を派遣します。	1	2 →		1	2	3	4 →	
	㉒ 日常生活用具給付等事業 重度障害者に対して、自立生活支援用具等の給付・貸与を行います。	1	2 →		1	2	3	4 →	
	㉓ 地域活動支援センター 障害者に、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、社会との交流を促進します。	1	2 →		1	2	3	4 →	
	㉔ 生活訓練等事業 視覚障害者等に対して、日常生活に必要な訓練、指導等を行います。	1	2 →		1	2	3	4 →	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい（増やしたい）ができない」場合の理由の選択肢：

ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所がないため	カ. 引き受けてくれる事業所が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないから	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください（番号に○をしてください）。	(1)現在の利用		(2)今後3年以内の利用希望						
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(ア～シ)	1. 今よりも利用を増やす希望がある	2. 今と同じくらい利用し続けたい	3. 今よりも利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4. 5.を選んだ場合の理由(ア～シ)
H 障害児が外部の施設に通う支援	③⑩ 児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	③⑪ 医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	③⑫ 放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
一 障害児相談支援	③⑬ 障害児相談支援 障害児の通所支援に関する計画案の作成や、事業者との連絡調整を行うサービスです。	1	2		1	※利用希望あり			4 5	

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢：	
ア. サービスを受ける必要がないため	イ. サービスの対象者に含まれないため (※年齢制限・障害支援区分が合致しない等)
ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため	エ. サービス利用時間の都合が合わないため
オ. 地域にサービス提供事業所(③は相談支援事業所)がないため	カ. 引き受けてくれる事業所(③は相談支援事業所)が見つからないため
キ. 利用料金がかかるため	ク. サービスがあることを知らなかったため
ケ. 障害特性により利用できる事業所がないから	コ. 親などの介助者が仕事を休まなくてはならないため
サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため	シ. その他

※(1)と(2)をそれぞれご回答ください。

サービスの分類	※各サービスにつき、「現在の利用」と「今後3年以内の利用希望」の両方についてお答えください(番号に○をしてください)。 「2. 利用していない」 「4. 利用希望がない」 「5. 利用したい(増やしたい)ができない」と答えた場合、その理由をお答えください。(上の表の選択肢A～シから選んで記載ください。)	(1)現在の利用			(2)今後3年以内の利用希望					
		1. 利用している	2. 利用していない	利用していない場合の理由(A～シ)	1. 今よりも利用を増やす希望がある	2. 今と同じくらい利用の増減がある	3. 今よりも利用を減らす希望がある	4. 利用希望がない	5. 利用したい(増やしたい)ができない	4. 5.を選んだ場合の理由(A～シ)
J 障害児への訪問による支援	③4 居宅訪問型児童発達支援 重度の障害などにより外出が著しく困難な障害児の居宅を訪問して発達支援を行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
	③5 保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	1	2		1	2	3	4	5	
K 入所している障害児の支援	③6 福祉型児童入所施設 障害児入所施設に入所する障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。	1	2		1	※利用希望あり			4	5
	③7 医療型児童入所施設 障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	1	2		1	※利用希望あり			4	5

「利用していない」「利用希望がない」「利用したい(増やしたい)ができない」場合の理由の選択肢:

- | | |
|---------------------------------|--|
| ア. サービスを受ける必要がないため | イ. サービスの対象者に含まれないため
(※年齢制限・障害支援区分が合致しない等) |
| ウ. 既に別のサービスの提供を受けているため | エ. サービス利用時間の都合が合わないため |
| オ. 地域にサービス提供事業所がないため | カ. ひき受けてくれる事業所が見つからないため |
| キ. 利用料金がかかるため | ク. サービスがあることを知らなかったため |
| ケ. 障害特性により利用できる事業所がないから | コ. おやなどの介助者が仕事を休まなくてはならないため |
| サ. 家族以外から支援やサービスを利用することに抵抗があるため | シ. その他 |

権利擁護についてお聞きします。

問43 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つだけ）

1. ある 2. 少しある 3. ない ---> 問45へ

【問43で、1. 又は2. と回答された方にお聞きします。】

問44 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学校・仕事場 2. 仕事を探すとき 3. 外出中
4. 余暇を楽しむとき 5. 病院などの医療機関 6. 住んでいる地域
7. 障害者施設 8. その他（ ）

問45 成年後見制度についてご存じですか。（○は1つだけ）

1. 名前も内容も知っている 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

問46 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。（○は1つだけ）

1. よく理解されている 2. おおむね理解されている
3. あまり理解されていない 4. まったく理解されていない
5. わからない

問47 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 障害者理解のための学校教育の普及
2. 広報などによる啓発活動の推進
3. 障害者の活動や団体の活動の紹介
4. ボランティアの活動の推進
5. 障害のある人と参加できるスポーツ・文化活動の推進
6. 障害のある人に配慮した公共施設や道路の整備
7. 障害者福祉に関する広報やパンフレットの作成
8. その他（ ）
9. 特になし

問53 災害時には、家具が倒れないよう固定するなどの家具転倒対策が、ご自身の身を守るために有効です。家具の転倒を防止するための金具などを自ら取り付けることが困難な世帯に、取付事業者による施工費用の一部を助成する「家具転倒防止対策事業※」があることを知っていますか（〇は1つだけ）

※次の①と②の合算額を助成

- ①出張料 5,000円を上限
 - ②取付費用 家具1台あたり500円を上限（5台まで）
- 金具代及び助成額を超えた場合の差額は利用者負担

1. はい 2. いいえ

問54 「家具転倒防止対策事業」を利用したいと思いませんか（〇は1つだけ）

1. はい 2. いいえ

【問54で、「2. いいえ」と回答された方にお聞きします。】

問55 利用したいと思わない理由はなんですか（〇はいくつでも）

- 1. 申請等の手続きが手間
- 2. 金具を取り付けたいと思わない
- 3. 指定の取付業者ではなく自身で取り付けたい
- 4. すでに金具の取り付け等の対策をしている
- 5. その他（ ）

療育・保育・教育についてお聞きします。

問56 ご家族の方が、あなたの療育・保育について困っている（または過去に困った）ことはありますか。（あてはまるものすべてに〇）

- 1. 療育・保育に関する情報が少ない
- 2. 希望する施設や保育所（園）・幼稚園に入れない
- 3. 施設での療育・訓練の機会が少ない
- 4. 施設での療育・訓練の内容に問題がある
- 5. 本人の成長に不安がある
- 6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
- 7. 通園・通所の送り迎えが大変
- 8. 費用など経済的負担が大きい
- 9. 小学校入学時の学校選択で困っている
- 10. その他（ ）

問57 あなた（ご家族の方）は、学校や教育について、困っている（または過去に困った）ことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 教育・療育に関する情報が少ない | 2. 学校での介助が大変 |
| 3. 通学の送迎が大変 | 4. 教職員の指導・支援の仕方が心配 |
| 5. 学校のカリキュラムが本人に合わない | 6. 友だちとの関係づくりがうまくできない |
| 7. 療育・訓練を受ける機会が少ない | 8. 今後の学校選択について迷っている |
| 9. 学校卒業後の進路に不安がある | 10. その他（ ） |
| 11. 特に困っていることはない | |

問58 【小学校入学前の方がお答えください。】ご家族の方は、あなたが小学校に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1. 小学校の通常学級 | 2. 小学校の特別支援学級 | 3. 特別支援学校 |
| 4. その他（ ） | 5. わからない | |

問59 【中学生の方がお答えください。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 高等学校 | 2. 特別支援学校の高等部 | 3. その他の学校 |
| 4. 通所施設に通いたい | 5. 企業などで就労したい | |
| 6. その他（ ） | 7. わからない | |

趣味や教養などの生涯学習活動についてお聞きします。

問60 あなたが行っている（行っていた）趣味や教養などの活動は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 1. 健康（医学、栄養学、感染症など） | 2. 家庭生活（料理、手芸など） |
| 3. 育児・教育（幼児教育、教育活動など） | 4. 学術・教養（文学、郷土史、経済、語学など） |
| 5. 社会問題（時事、国際、環境など） | 6. 自然災害（防災、避難方法など） |
| 7. 情報通信技術（パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など） | 8. 職業上必要な知識・技能・資格取得 |
| 9. 趣味・お稽古事（音楽、美術、伝統芸能、園芸など） | 10. 健康づくり（各種スポーツ、レクリエーションなど） |
| 11. 地域活動（町内自治会、PTA、住民グループなど） | 12. ボランティア活動（福祉、環境美化、学習指導など） |
| 13. その他（ ） | 14. 行っていない |

普段の生活における情報入手やコミュニケーションについてお聞きします。

問61 あなたは、情報入手やコミュニケーションについて困ることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

<p>【A: 情報の入手・理解について】</p>	<p>1. 街中や建物内の案内表示（看板やサイン）、地図などがわかりにくい (例：トイレの男女の区別がつかない、エレベーターの階数表示がわからない等)</p> <p>2. 郵便物やチラシ、説明書などの文章が難しく、内容がわからないことがある</p> <p>3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない</p> <p>4. 音声案内（アナウンス）が聞こえなかったり、聞き取りにくかったりして情報が入らない</p> <p>5. 必要な情報が、音声読み上げや点字、拡大文字などで提供されていないことが多い (または、点字等の対応はあっても、自分が使えない手段のため情報が得られない)</p> <p>6. テレビや動画、Webサイトなどで、字幕や手話通訳がないため内容がわからない</p>
<p>【B: 人々の話・コミュニケーション】</p>	<p>7. 相手の話すスピードが速かったり、声が小さかったりして聞き取れないことがある</p> <p>8. 相手の説明に難しい言葉や専門用語が多く、理解するのが難しい</p> <p>9. 手話や筆談（要約筆記）、タブレット端末などで対応してくれる場所や人が少ない</p> <p>10. 自分の言いたいことを伝えるのに時間がかかり、相手を待たせたり、急かされたりしてしまう</p> <p>11. 自分がその場にいるのに、自分ではなく介助者や家族にばかり話しかけられる</p> <p>12. 車いすを使用している際などに、窓口のカウンターが高すぎたりして、会話がしにくい</p> <p>13. マスクをしていると相手の口元が見えず、話の内容が読み取れない</p>
<p>【C: 連絡手段】</p>	<p>14. 電話しか連絡手段がない場所が多く、問い合わせや予約ができずに困る</p> <p>15. パソコンやスマートフォン（タブレット）での情報の入力や送信の操作が難しい</p>
<p>【D: その他】</p>	<p>16. その他（ ）</p> <p>17. 特に困っていることはない</p>

しょうがいしゃしやくせんぱん のぞ き
障害者施策全般に望むことについてお聞きします。

と
問62 あなたが充実してほしいと感じているものはどれですか。 (あてはまるもの3つに○)

1. ホームヘルプサービス (居宅介護、重度訪問介護等)
2. 日中活動系サービス (生活介護、児童発達支援等)
3. 居住系サービス (共同生活援助 (グループホーム) 等)
4. 相談支援 (障害者基幹相談支援センター、計画相談支援など)
5. 外出時の支援 (移動支援、タクシー・自動車燃料費等の助成)
6. 企業、施設などでの就労の支援
7. 住宅改修、公営住宅・民間アパートへの入居サポートなど、暮らしやすい住宅の確保
8. 保健、医療の提供 (医療費の助成を含む)
9. 補装具、日常生活用具など用具の給付 (対象品目や助成額の充実)
10. コミュニケーション支援 (手話や要約筆記などの通訳者や支援者の派遣、情報機器などを活用した障害の特性に合わせた情報提供)
11. 障害者スポーツの充実 (スポーツを楽しむ機会や環境の整備)
12. 防災対策及び災害時など緊急時の避難等の支援
13. 文化・芸術の充実 (鑑賞、参加することができる環境の整備)
14. 余暇活動、地域活動、生涯にわたる学びの機会の充実
15. 成年後見制度、障害者差別解消、障害者虐待防止などの権利擁護
16. 障害に対する市民の理解促進 (地域住民への啓発、交流事業の実施、心のバリアフリー教育等)
17. ケアラーへの支援
18. その他 ()
19. 特にはない
20. わからない

このほかに、障害福祉サービス等や行政の取組について、何かご意見やご要望がありましたら、なんでも書いてください。

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。